

日本独自の業務形態に即応可能な 中堅製造業向けERPソリューション

鶴 雅春* 高橋佳夫*
関 吉隆* 中村正一**

ERP Solutions for Mainstay Manufacturing

Masaharu Tsuru, Yoshitaka Seki, Yoshio Takamuku, Shoichi Nakamura

要 旨

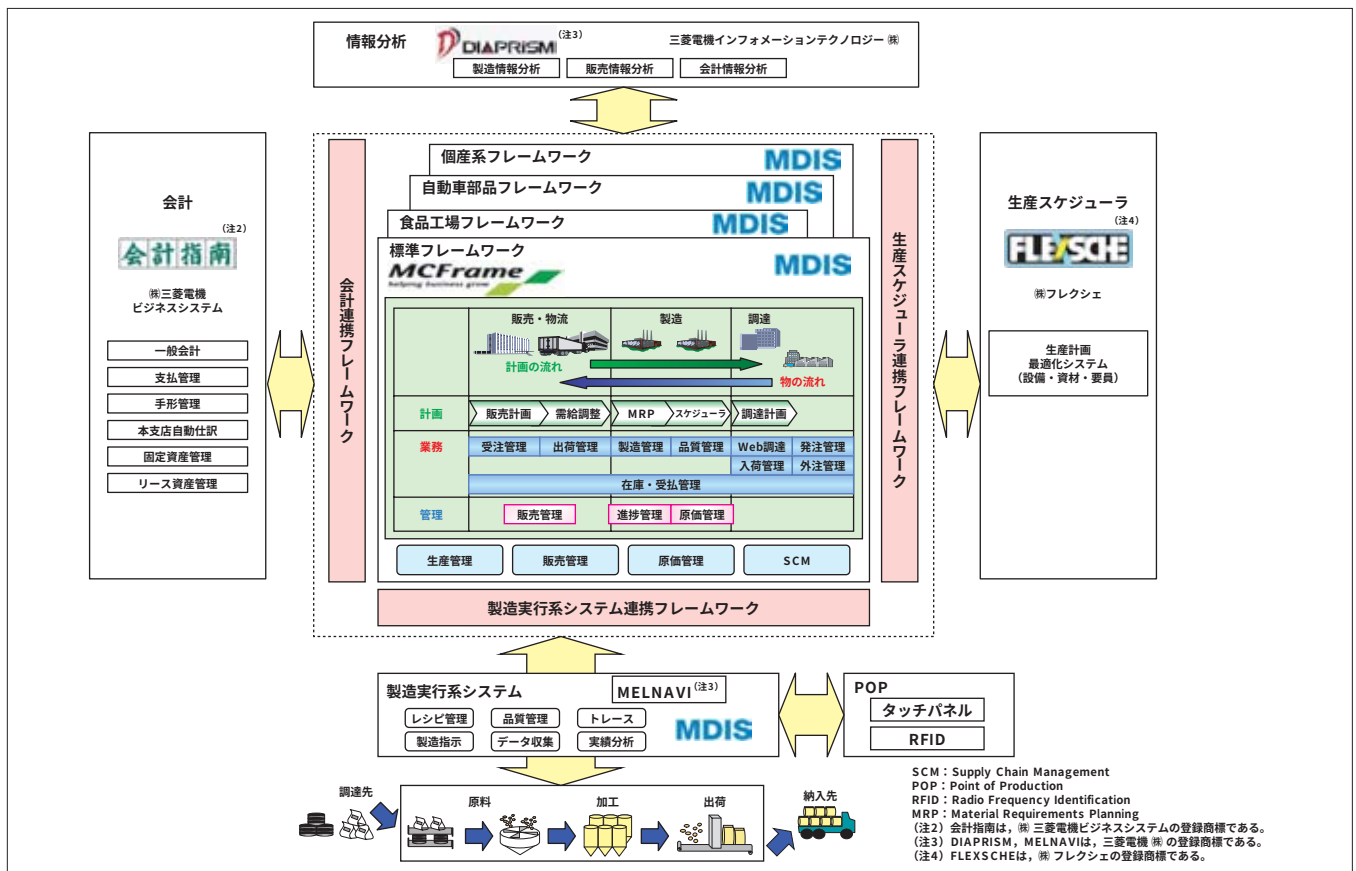
三菱電機インフォメーションシステムズ(株)(MDIS)では、中堅製造業向けにMCFrame^(注1)を中核としたERP(Enterprise Resource Planning)ソリューションを開発した。

MCFrameは、オブジェクト指向技術の採用により、日本の生産管理のノウハウを取り込んだ部品をフレームワークとして提供している。システムの導入は、お客様自社の強みを生かしながら、最適な部品を選択、組合せ、カスタマイズしながら進める。このため、一般的にERPの導入で行われる“現在の業務モデルを捨ててパッケージが提供するベストプラクティスに合わせる”のではなく、あくまでも“お客様の現場から築き上げた強みは生かしていく”アプローチをとることを特長としている。

MDISでは、MCFrameの標準フレームワークをベースに業種別フレームワーク及び会計管理、生産スケジューラ、製造実行系システムなどの連携ソリューションを整備し、上流のコンサルから、システム構築、稼働後の運用保守、アウトソーシングまでをワンストップサービスとして提供している。

MDISの中堅製造業向けERPソリューションは、柔軟・迅速なシステム構築とワンストップサービスでお客様の強みを更に伸ばす、快適・安心・発展のソリューション提供を目指している。

(注1) MCFrameは、東洋ビジネスエンジニアリング(株)の登録商標である。



中堅製造業向けERPソリューションの概念図

MCFrame標準フレームワークは、生産管理、原価管理、販売管理、SCMのモジュールで構成される。MDISでは、この上に業種別フレームワーク及び会計、製造実行系システム、生産スケジューラなどの連携ソリューションを整備し、上流のコンサルからシステム構築、稼働後の運用保守、アウトソーシングまでをワンストップサービスとして提供している。